

施肥事例[いちご-1] (茨城県)

有機成分が土壌微生物を活性化！

農家情報

- [作物] いちご
- [品種] ルビードロップ、ひたち姫、いばらキッス、とちおとめ、章姫、紅ほっぺ、エンジェル・ナイト
- [圃場] ハウス圃場
- [肥料名] サトウキビのちから水 (6・3・3, 0・8・5他)
- [使用期間] 12月～5月

施肥方法

灌水施肥

500～1000倍希釈を天候により

AI自動灌水

1回/週、20kg/回/25a

※その他栽培管理は生産者様の方法に準拠

ポイント

糖蜜由来の有機酸、糖分、アミノ酸、微量元素が土壌微生物の工サになり、土を豊かにします。



お客様の声

- ・いちごの味が安定する。
 - ・土壌の生物多様性検査をしたら、多様性・活性値の偏差値が上がり、土が良くなった。
- ※あくまで使用者様の感想です。